



Aタイプ	3.5mx4.5m	9.5畳	1階7戸	2階4戸	11戸
B	3.5x(4.5+2.3)	14.4畳	1階1戸	2階0戸	1戸
C	5.0x4.5	13.6畳	1階1戸	2階0戸	1戸
D	4.0x4.5	10.9畳	1階1戸	2階0戸	1戸
					総計 14戸/21人

中学校の再利用計画

雪の多い冬の時期は、お年寄りにとって毎日が大変です。ほとんどのお年寄りは、自宅で暮らしたいという思いを持っていると思いますが、自宅に暮らす事が雪の多い時期は、大変です。これらの問題を解決出来れば、お年寄りのみではなく、自治体にとっても、メリットになります。

この問題を解決する一つの方法として、冬季限定のサービス付き高齢者住宅を提案します。内装を改造した旧中学校で冬の間だけ共同で生活し、一緒に作業をする事を考えてはどうでしょうか。色々な思い出がある旧学校を利用する事は、思い出を繋げていく事も含めて意味があると思います。必要最小限の改造といっても、最低限個室は必要です。個人の生活を守りながらも、一緒に暮らすメリットを考えなければなりません。その個室群を主に冬季以外は、旅行者の宿泊施設あるいは合宿施設として提供してもいいと思います。

冬季限定高齢者住宅が可能となれば、同じ様な環境の町村に適用できる可能性があると思います。

キャンプ場/宿泊・屋台キャビン

学校の東側の緑地をキャンプ場あるいは、簡単なキャビンを配して、主に冬以外に使用できる場所を提供してはどうでしょうか。冬季用の高齢者住宅用のキッチン、浴室等を使用すれば、年中校舎を使う人達に、宿泊する場を提供できます。

キャビンは、室の両側に折りたたみ式の棚を設け、棚にして寝袋で寝られる場所にする事も出来ます。大きさを2x4M位にしてリアカーの様に移動できる様にすれば、繋げて使う事もできれば、移動式なので、宿泊だけではなく、いろいろなイベントの屋台としても適当な場所に移動して利用できます。